



▲力強くくわ入れを行い、工事の安全を祈願した阿仁川河川災害復旧助成事業安全祈願式

この後、事業報告が行われ、内容の詳細について理解を深めて、事業の安全を祈願し、安心・安全なまちづくりに向け誓いを新たにしました。

昨年9月の豪雨災害によって、甚大な被害があった阿仁川の復旧改良を行う、阿仁川河川災害復旧助成事業の安全祈願式が11月17日に増沢地区阿仁川付近で行われ、国、県、市等関係者約40人が参加し、災害の再発防止と工事の安全を祈願しました。

災害にも強いまちづくりを目指し

阿仁川河川災害復旧助成事業 安全祈願式

度から23年度までの事業期間で行われます。増沢地区から五味堀地区までの延長28kmにわたり、5地区に分かれて、堤防を築いたり、川幅を広げるなどの工事が行われます。

この日、増沢地区高長橋下流付近で行われた安全祈願式では神事のと、藤田了次北秋田地域振興局長、岸部市長ら代表6人がくわ入れを行い、工事の安全を祈願しました。

その後、市交流センターで式典が行われ、藤田振興局長は「平成19年度、20年度の事業費は全体の75%となっており、短期間に集中的に投資し、事業効果の早期発現を図ることにしている。工事を安全に進めて早期完成を目指してゆきたい」と式辞。

また、岸部市長は「再び災害が起らないように、事業採択していただいた。短期間で集中的に事業を進めて下さるとのこと、地元としては大変ありがたい。地域住民に安心して生活できるようにお願いしたい」と祝辞を述べました。

- ### 市長日誌
- ◇11月1日～15日
- 1日(土)▽第3回浜辺の歌音楽祭に出席(市文化会館)
 - 2日(日)▽北秋田市軽トラック市・フリーマーケットオープニングに出席(駅前商店街)
 - 4日(火)▽北秋田市上小阿仁村病院組合議会臨時会に出席(公立米内沢病院)
 - 5日(水)▽平成20年北秋田市議会第3回臨時会に出席(市議事堂)▽北秋田市議会議員全員協議会に出席(市役所大会議室)▽市立阿仁病院運営協議会に出席(阿仁病院)
 - 6日(木)▽県道矢坂糠沢線整備促進期成同盟会に出席(ゆとりあ藤里)
 - 7日(金)▽12月補正予算案の査定を実施(市役所)
 - 8日(土)▽北秋田市文化祭開会行事・表彰式に出席(文化会館)
 - 9日(日)▽第15回JA鷹巣町女性部大会に出席(交流センター)
 - 10日(月)▽北秋田市上小阿仁村生活環境施設組合用務で県庁を訪問(県庁)▽勤続30年の市職員に対し県市長会表彰を伝達(応接室)
 - 11日(火)▽11月定例記者会見を実施(大会議室)▽阿仁スキー場の冬季ゴンドラ運行にかかる支援要請で県産業経済労働部長へ要望書を提出(県庁)▽秋田県知事と秋田県市町村長との行政懇談会に出席
 - 12日(水)▽新病院用務で弘前大学附属病院を訪問(弘前市)
 - 13日(木)▽北秋田市議会決算特別委員会総括質疑に出席(第1会議室)▽下水道事業運営審議委員会で委員に委嘱状を交付し諮問(分庁舎会議室)
 - 14日(金)▽大館能代空港ターミナルビル株式会社取締役会に出席(空港ターミナルビル)
 - ▽綴子地区行政懇談会に出席(綴子集落基幹センター)



▲11月定例記者会見で(11/11)

内陸線存続への思いを新たに

内陸線フォーラム

内陸線フォーラムが、11月23日、阿仁打当温泉「マタギの湯」で開催され、市内外から約120人が参加して、読売新聞特別編集委員の橋本五郎さん(三種町出身)をはじめパネラーからの提言に耳を傾けながら内陸線存続への思いを新たにしました。



▲橋本さんと山王丸さんが参加し、内陸線存続への思いを新たに内陸線フォーラム

最後に橋本さんが「思いのたけを語り合って、明るい展望が開けた感じがした。内陸線を守る取り組みをさらに盛り上げて行きましょう」と今後の抱負を述べてフォーラムを閉じました。

ユーサーの山王丸和恵さん(秋田市出身)の司会で進められ、5人のパネラーがそれぞれの実績を紹介しながら内陸線存続に向けた取り組みを提言しました。冒頭、橋本さんは、「地元の危機感を県全体の課題として考える大事な機会。全国から叡智、アイデアを集めて内陸線を守らなければならない」と述べました。

秋田杉のチェンソーアート作品を寄贈

北秋田チェンソーアートクラブ

チェンソー(回転のこぎり)を使った彫刻「チェンソーアート」作品の制作活動を行っている北秋田チェンソークラブ(福森卓会長)から北秋田市への作品の贈呈式が11月12日、市役所玄関前で行われました。



▲10作品を寄贈した北秋田チェンソーアートクラブの福森卓会長(左)

球に優しいエンタテイメントとして年々愛好者が増えています。贈呈式では、福森会長が佐藤修助副市長に作品の目録を手わたした後、2体の作品を除幕、集まった市民らにお披露目されました。

福森さんは、「市の施設などで活用し、市民に喜んでもらえればうれしい。また、地域の林業や北秋田市のPRに少しでも役立てば」と話していました。